

職 員 一 覧

(R6. 5. 1 現在)

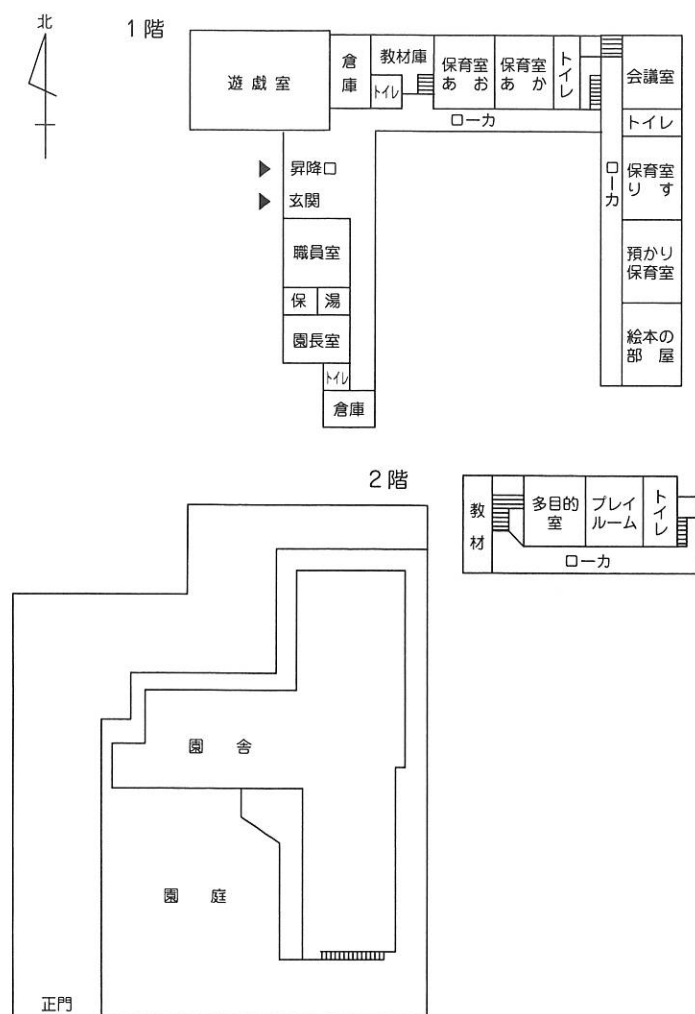
職 名	氏 名	担 当	職 名	氏 名	担 当
園 長	北 川 まゆみ		主任教諭	赤 井 智 子	
教 諭	阿 部 翔 平		教 諭	小 田 茜	
教 諭	森 本 彩		教 諭	吉 岡 広 美	
講 師	磯 田 薫		講 師	田 中 員 子	
業務員	阪 口 雅 直		園 医	松 田 研	
歯科医	岡 部 泰 直		薬剤師	中 野 佳 子	



令和6年度

幼稚園要覧

本園平面図



広陵町立

真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園

奈良県北葛城郡広陵町馬見北7丁目1番32号

TEL/FAX 0745-55-6240

沿 革 の 概 要

昭和61年 9 月 4 日	園舎建設起工式
昭和62年 4 月 1 日	広陵町立真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園として開設 年長5歳児1学級、年少4歳児2学級編制で出発する。
昭和63年 4 月 1 日	年長5歳児2学級、年少4歳児2学級編制となる。 以後、平成4年度(年長2、年少1)、平成5年度(年長1、年少2)、平成7年度(年長2、年少1)3学級編制。それ以外の年度は(年長2、年少2)の4学級編制となる。
昭和63年10月28日	幼稚園園歌を制定する。
平成 5 年 2 月26日	奈良県教育委員会より教育美術展学校賞を受ける。
平成 6 年 2 月25日	教育美術振興会より教育美術奨励賞を受ける。
平成 7 年 2 月24日	奈良県教育委員会より教育美術展学校賞を受ける。
平成 8 年 2 月23日	教育美術振興会より教育美術奨励賞を受ける。
平成12年 4 月 1 日	3年保育実施となる。
平成14年 3 月26日	美育文化協会より奈良県団体賞を受ける。
平成16年 2 月27日	奈良県教育委員会より教育美術展学校賞を受ける。
平成22年10月26日	奈良県幼稚園教育課程研究協議会の会場園となり公開保育をする。
平成25年 3 月25日	美育文化協会より都道府県団体賞を受ける。
平成31年 3 月24日	美育文化協会より都道府県団体賞を受ける。

教 育 方 針

1. 教 育 目 標
- (1) 本園の教育目標

○明るく元気な子ども。

○思いやりのあるやさしい子ども。

○よく考え最後までやりぬく子ども。
- (2) 教育目標を達成するための基本方針

○様々な活動を通して豊かな感性を育て、創造性を培うようにする。

○自然や人とのふれあいなど様々な体験を通して、生活に必要な習慣や態度、豊かな心情を育てる。

○相手を思いやる心を育て、自己発揮と自己抑制の態度、道徳性の芽生えを培うようにする。

○自発的・自主的な運動遊びを楽しみ、健康でたくましい心身を育てる。

○体験的な活動（調べる・比べる・尋ねる）を通して、遊ぶことの楽しさを味わわせ、自立心を育て、人と関わる力を育てる。
2. 指 導 の 重 点
- (1) 保育内容の重点

・自分のしたいことを自分で選び、活動意欲を高め、自己を十分発揮できるようにする。

・戸外の遊びや自然・人とのふれあいなど様々な体験を通して、豊かな心情を育てる。

・幼児自らが、その子なりのめあてをもって課題に取り組めるようにする。
- (2) 人権教育推進の重点

・友達とともに過ごす楽しさや喜びを味わい、まわりの人たちの思いに気づき相手を思いやる心を育てる。

・自然や身近な動植物に親しみ、生命を大切にしようとする心を育てる。
- (3) 特別支援教育推進の重点

・個別の指導計画に基づいた教育的支援を、効果的にかつ効率的に行う。

・幼児の支援を必要とする状態や発達段階を考慮して、望ましい生活習慣や態度を確実に育てる。

・家庭や医療・福祉等関係機関との連携を図り、健康の保持増進や、安全の確保に努める。
- (4) 環境構成についての重点

・幼児期にふさわしい生活が展開できる環境づくりに努める。

- ・子どもが安定して主体性を発揮できる環境を考える。
- ・幼児期の発達課題に即した指導の時期と援助の方法を考える。
- ・小学校へのなめらかな接続ができるよう環境を整える。
- (5) 遊びについての重点

・経験したことや感じたことなどを話したり聞いたりして、伝え合う喜びを味わえるようにする。

・十分に身体を動かして遊ぶ活動を積極的に取り入れ、充実感や満足感を味わい健康な心と身体を育てる。

・協同して遊ぶ中で良いこと、悪いことに気づかせ、ルールを守る大切さを知らせる。
- (6) 基本的生活習慣についての重点

・様々な遊びや生活を通して、基本的な生活習慣や態度を育てる。

・幼児自ら健康で安全な行動がとれるよう、必要な習慣や態度を身につけられるようにする。

・『早寝・早起き・あさごはん』運動から食の大切さを知らせ、正しい生活のリズムを身につけられるようにする。

3. 本年度の努力点

〈協議主題〉幼児教育と小学校教育の円滑な接続の推進について

【協議の視点】

- ①幼児教育施設間、幼児教育施設と小学校間における相互理解の促進
- ②架け橋期のカリキュラムの開発・実施

年 間 行 事 計 画

4 月	始業式、入園式、家庭訪問、身体測定、検尿
5 月	子どもの日お祝い会、遠足、土曜参観
6 月	プール開き
7 月	七夕まつり会、個人懇談、おたのしみ会、終業式
8 月	
9 月	始業式
10月	運動会、消防車見学、いもほり
11月	絵画展、保育参観、遠足、かけっこ大会、交通安全教室
12月	もちつき、個人懇談、クリスマス会、終業式
1 月	始業式、お正月遊び会、新入園児説明会
2 月	まめまき、生活発表会
3 月	ひなまつり会、お別れ会、卒園式、修了式
毎月	誕生会、体重測定、避難訓練、安全点検、交通安全指導

学級編制と地区別園児数

(R6. 5. 1 現在)

組 名		り す (3 歳児)	あ か (4 歳児)	あ お (5 歳児)	計
園児数	男	2	8	5	15
	女	6	2	6	14
	計	8	10	11	29